

令和3年度

社会福祉法人 大阪市西淀川区社会福祉協議会 事業報告

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

1 法人運営事業

(1) 社会福祉法人制度改革への対応及び組織の強化

- ① 適正な法人運営（理事会、評議員会の開催）
- ② 透明性の向上（コンプライアンス意識向上、個人情報の保護の徹底）
- ③ 会員組織の拡充（会員組織の拡充、賛助会員の増加）
- ④ その他（感染症対策委員会、個人情報適正委員会の開催）

事業名	時期	内容
理事会	6月3日	事業・決算報告など（書面にて決議）
	6月18日	会長・副会長の選任について
	3月16日	事業計画・予算案など（10名出席）
評議員会	6月18日	事業・決算報告など（書面にて決議）
	3月28日	事業計画・予算案など（書面にて決議）
職員研修会	12月7日 12月14日 12月15日 12月16日 12月17日 12月21日	コンプライアンス研修 「コンプライアンス及び個人情報の保護について」 (58名参加)
会員組織	通年	組織構成会員：29団体（昨年度29団体） 賛助会員：8団体（昨年度10団体）、 個人30人（昨年度29人）
感染症対策委員会	通年	コロナウイルス感染症拡大防止についてなど（5回）
個人情報適正委員会	通年	個人情報の取り扱い、セルフチェック表など（4回）

(2) 善意銀行の運営

- ① 受付・払出（日常的に受付、福祉事業や団体の活動に払出）
- ② 払出先の募集（払出先の募集・審査、適切な助成）

事業名	時期	内容
善意銀行の運営	通年	寄付等受付：6件、払出：18団体
運営委員会 (払出部会)	6月3日	収支報告、特定テーマ払出申請団体など（書面決議）
	11月24日	歳末助け合い運動にかかる助成など（4名出席）
払出先の助成	通年	「福祉ボランティア活動応援資金」15団体 区民生委員児童委員協議会

(3) 広報・啓発活動「社会福祉協議会活動の見える化」

- ① 情報発信の充実（「区社協だより」の発行、ホームページ、フェイスブック、公式 Line、パンフレットやリーフレットなどを活用）
- ② 区社協の見える化の推進（区社協キャラクター「ふくふく君」を活用した会員募集や事業周知、区社協ユニフォームの活用）
- ③ 社会福祉講演会（映画上映会の開催）

事業名	時期	内容
区社協だより	冬号（12月）	25,000部、新聞折り込み・配架・送付 など
	春号（3月）	25,000部、新聞折り込み・配架・送付 など
情報発信	通年	ホームページ、フェイスブックの活用
		パンフレット、リーフレットの活用

(4) 関係機関等との連携・協力

- ① 共同募金への協力（共同募金運動の広報や啓発、街頭募金活動、配分金の配分）
- ② 日赤業務との連携・協力（社資募集業務に協力）
- ③ 各地域団体との連携・協力（区地域振興会、地域社協委員長会の開催）

事業名	時期	内容
共同募金	通年	共同募金の配分金（2,119,240円） （配分先：金婚夫婦お祝い品（185組）、各地域社協、区老人クラブ連合会、区民生委員児童委員協議会、区体育厚生協会、NPO法人にしよどにこネット、区障がい者地域自立支援協議会、西淀川アートターミナル運営会議、OKKO）
		地区募金会事務
		10月1日～12月31日「赤い羽根共同募金運動」街頭募金活動については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。一般募金実績（3,532,489円）
日赤活動	通年	社資募集に協力
地域団体活動支援	通年	地域振興会会長会（第4水曜日、12回） 地域社協委員長会（1回）

2 地域福祉活動支援事業

住民参加協働による福祉活動の充実、福祉コミュニティづくりなど、西淀川区地域福祉計画・地域福祉活動計画「ささえあいあいプラン」の推進やコロナ禍でもつながるために、状況に応じて福祉活動連絡会を開催した。また、従来の小中学生に加え高校生向けの福祉教育や、災害発生時に備えた訓練（法人内）などに取り組んだ。

（1）地域生活課題の予防・解決に向けた小地域福祉活動の支援

- ① 地域福祉計画・地域福祉活動計画の推進（推進会議、部会、評価委員会の開催）
- ② 地域福祉活動連絡会の開催
- ③ 地域アセスメントデータの整備と活用
- ④ 社会福祉講演会の開催

事業詳細	時期	内容
ささえあいあいプランの推進	通年	地域福祉推進会議（3回）、評価委員会（1回） ちょこっと♡助っ人ポイント事業（部会準備会7回） （部会3回） ～にしよどL♡VE～となりのお節介さん～（部会準備会6回） （部会準備会6回） ウエルカムバンク ～ウエルカムな気持ちを届けるバンク～（部会準備会6回）

地域福祉活動連絡会の開催	通年 (奇数月)	フレイルとオーラルフレイルについて(7月)、サロン活動に役立つ簡単ケアな介助について(11月)、「地域で身近に起こる孤立死(孤独死)を一緒に考えましょう(1月)、生活支援体制整備事業って?(3月)
地域アセスメントデータの整備と活用	通年	HAPPY システムを使い、地域の情報を整備
社会福祉講演会の開催	3月	社会福祉講演会(映画上映会) 「こんな夜更けにバナナかよ 愛しき実話」 (137人参加)

(2) 参画・協働による地域づくり・場づくり

- ① ボランティア・市民活動の推進(相談・支援、需給・調整、「ボランティア情報誌」の発行、機材やスペースの貸出、助成の案内・申請受付、「ボランティア保険の受付・取り次ぎ」)
 - ・ボランティア・市民活動センターの運営(センターの開放、資・器材の貸与、ボランティア・市民活動センター運営委員会の開催)
 - ・ボランティアの発掘・育成(ちよいボラおやじの会、保育ボランティアサロン、保育ボランティアセミナー、登録ボランティア団体による絵手紙講座の開催及び支援)
 - ・多様な活動の連携・協働推進(「にしよどリンク(異業種交流会)」「ボラセンGO!連絡会」「ボラセンGO-GO」の開催)
- ② 各種団体・関係機関・施設との連携強化(「社会福祉施設連絡会」「子ども・子育て支援連絡会」「自立支援協議会」等の開催及び参画)

事業詳細		時期	内容
活動推進	登録数	通年	個人：198人(前年度195人) グループ：39グループ(前年度41グループ)
	需給調整	通年	活動希望：16件
	相談支援	通年	電話(27件)、来所(20件)、訪問(2件)
	情報誌	通年	年間：2636部送付
	ボランティア保険	通年	活動保険：68件(前年度84件) 行事保険：67件(前年度52件)
運営委員会	7月12日 10月29日 2月25日	出席：11名、活動報告、活動状況など 出席：11名、活動報告、活動状況など 出席：8名、活動報告、活動状況など	

発掘・育成	組織化	通年	ちよいボラおやじの会「定例会」・「趣味の会」(16回) 保育ボランティアサロン (6回)
	養成講座	通年	健康キラリ☆塾 (1回) 絵手紙講座の開催及び支援 (4回) おもちゃづくり講座の開催 (2回)
活動支援	センター開放	通年	のべ 223 回利用
	資・器材貸与	通年	輪転機・コピー機などを貸出
連携・協働活動		通年	にしよどリンク (偶数月 5 回) 企画運営会議 (11 回) ボラセン GO! 連絡会 (4 回) ボラセン GO-GO (4 回) ボランティアエキスポ実行委員会及び部会の開催 (6 回)

事業詳細	時期	内容
団体・関係機関等との連携強化	通年	社会福祉施設連絡会：連絡会 4 回 役員会 4 回 自立支援協議会：運営委員会 6 回出席 子ども・子育て支援連絡会：12 回 西淀川こどもネット会議：6 回出席 ドラ☆パンにしよど：実施 8 回 企画運営会議 10 回

(3) 地域における共生をめざした福祉教育の推進

- ① 福祉教育の推進と支援 (小・中・高等学校での福祉体験学習支援)
- ② 認知症の理解促進 (キャラバン・メイト連絡会の開催、「認知症サポーター養成講座」の実施支援)
- ③ 用具等の貸出・払出 (車いすの貸出、寄付物品などの払出)

事業詳細	時期	内容	
福祉教育	6月21日	3年生 21人 視覚障がいについて	
	6月23日	3年生 21人 視覚障がいについて	
	11月12日	3年生 20人 認知症について	
	11月15日	3年生 18人 認知症について	
	香簗小学校	11月16日	4年生 38人 車いす体験・当事者の講話
	佃中学校	2月16日	2年生 139人 車いす体験・ボッチャ体験
佃西小学校	2月18日	4年生 83人 車いす体験・エコキャップ分別活動	
認知症の理解促進	通年	認知症サポーター養成講座 (1 回) キャラバン・メイト連絡会 (3 回)	

車いすの貸出・払出 食支援	通年	車いすの貸出：86件 ロックペイント株式会社寄付物品払出：17件 (水菜、サニーレタス、トマト)
------------------	----	--

(4) 災害発生時における支援体制の強化

- ① 大規模災害時に的確な支援を行うための災害対策の推進
- ② 防災対策委員会の実施（法人内）
- ③ 災害対策本部設置訓練の実施（市社協合同）

事業詳細	時期	内容
大規模災害時に的確な支援を行うための災害対策の推進	通年	備蓄品の整理と購入
防災対策委員会の実施（法人内）	12月10日	初期行動計画の見直し（1回）、事業継続計画（BCP）の見直し（1回）
市・区社協災害対策本部設置訓練	12月17日	区社協災害対策本部設置、区災害ボランティアセンター設置訓練 他

3 要援護者の見守りネットワーク強化事業

福祉専門職の「見守り支援ネットワーカー」と、各地域に配置する「地域福祉活動支援コーディネーター※」が連携し、支援を要する世帯の早期発見、早期支援のための、地域におけるきめ細やかな見守りネットワークの構築を支援した。

※「地域福祉活動支援コーディネーター」とは、地域で孤立する要援護者（高齢者や障がい者など）を地域で把握し、地域での見守り支援や専門機関への橋渡しを行うことを目的に各地域に配置。

(1) 要援護者支援の充実

- ① 要援護者情報の集約・提供…行政が保有する要援護者情報を集約し、地域団体等への情報提供にかかる同意確認を進め、地域の見守り活動等につないだ。また、地域の実態を反映した要援護者名簿の整備を進め、各地域に名簿提供及び更新をしたうえで、地域住民が主体となる見守り活動（見守りネット倶楽部）を支援した。
- ② 援護が必要な人の発掘・つなぎ…支援が必要にもかかわらず、福祉サービスや地域における見守り活動等の支援を受けていない人や制度の狭間で

専門的な対応が必要な孤立世帯等に対して、「見守り支援ネットワーカー」が積極的に出向き、支援のニーズに応じて適切な関係先と調整し、福祉サービスや地域の見守り活動等につなぐ。

- ③ 認知症高齢者見守りネットワークの構築…認知症高齢者等の行方不明時の早期発見、保護のための仕組みとして、認知症事前登録及び協力者へ「発見メール」を配信した。

事業名	時期	内容
要援護者情報の集約・更新	通年	見守り支援ネットワーカー（2名配置）
		地域福祉活動支援コーディネーター（12名配置）
	2月～3月	同意確認（郵送764件・回答数451件・同意281件） （訪問472件・回答数300件・同意197件）
	通年	要援護者名簿の整備及び名簿提供の更新
援護が必要な人の発掘・つなぎ	通年	見守り支援ネットワーカー及びコーディネーターによるアウトリーチ （訪問259件・電話617件・来所83件・その他52件）
認知症高齢者見守りネットワークの構築	通年	事前登録者（のべ284名） 協力者（メール配信者）（のべ126件） 発見件数：2件

（2）多様化する生活課題・福祉課題への対応

- ① 包括的・重層的な相談支援の強化…住民の抱える多様な困りごとを受け止め、適切なサービスにつなぐことができるよう、地域及び専門職との連携を強化した。
- ② 「見守りネット倶楽部」の推進・地域福祉の担い手の育成…高齢者や障がい者など、支援を必要とする人を地域でゆるやかに見守ることができるよう、「見守りネット倶楽部」の構築を支援した。

事業名	時期	内容
相談支援体制の強化	通年	地域福祉活動連絡会、あんしん安全連絡会、総合相談連絡会、包括地域ケア会議等への出席
見守りネット倶楽部サポーター会議等への出席	通年	野里地域1回、香簀地域2回、大野百島地域1回、川北地域1回

4 生活支援体制整備事業

介護保険制度では賄うことができない多様な生活支援ニーズに応えるため、多様な主体、特に高齢者自身が主体となることができるよう、令和3年度より、第2層生活支援コーディネーター（日常生活圏域）を配置し、より身近な生活支援・介護予防の充実に向けた支援強化に努めた。

（1）ニーズと地域資源の把握・ネットワークの構築

① ネットワークの構築（協議体会議の開催）

・三師会をはじめとする関係機関・ボランティア・行政等が集まる「協議体会議」、各専門的に分かれて実務を担う「専門部会」を開催

② ニーズと地域資源の把握

・各地域の高齢者を対象としたニーズ調査や地域資源の把握

（2）地域資源・サービスの開発等

① 地域資源・サービスの開発

・新たな地域資源・サービスの立ち上げ支援

② 既存資源の拡充

・周知活動などの支援

③ 講座等の開催

・新たな担い手の発掘及び養成を目的とした講座等を開催

（3）活動の場の発掘

① 活動の場の発掘

・空き店舗や有効活用可能なスペースなどを発掘し、新たな地域資源として活用

（4）サービス実施情報の周知等

実施情報の周知等

・効果的な啓発、周知の充実

事業名	時期	内容
ネットワークの構築（協議体会議の開催）	通年	第1層協議体会議（2回） 第2層協議体会議（1回） いきいき・はつらつミーティング〔区全域〕（7回） いきいき・はつらつミーティング 〔西淀川区地域包括支援センター〕（8回） いきいき・はつらつミーティング 〔南西部地域包括支援センター〕（6回） 有効活用ネットワーク部会（5回） 在宅医療・介護連携推進区民啓発部会（5回）
ニーズと地域資源の把握	通年	介護予防教室の参加者、老人クラブ連合会、地域活動（食事サービス・ふれあい喫茶）の参加者を対象にアンケート調査を実施

地域資源・サービスの開発	通年	<p>新規立ち上げ支援（6か所）</p> <p>※【学習】：いきいき・はつらつ脳トレチャレンジ！ いきいき・はつらつ健口・栄養チャレンジ！</p> <p>※【交流】：さざんかシニアカフェ、さくらんぼの会</p> <p>※【その他】：ちょこっと♡助っ人ポイント制度、ききみみ会</p>
既存資源の拡充・継続支援		<p>既存資源の拡充（1か所）</p> <p>※【地域貢献】：エコキャップボランティア</p> <p>既存資源の継続支援（3か所）</p> <p>※【学習】：ふくふく元気ファーム</p> <p>※【交流】：にしよど絵手紙交流プロジェクト、パペポ寺子屋カフェ</p>
講座等の開催	通年	<p>担い手養成講座</p> <p>①『西淀川区ちょこっと♡助っ人ポイント制度』</p> <p>②『絵手紙ボランティア養成講座』 ※にしよど絵手紙交流プロジェクト</p> <p>③『公園の魅力見つけ隊』</p> <p>※いきいき・はつらつミーティング〔南西部包括圏域〕において、地域住民と公園調査を実施</p>
活動の場の発掘・開発	通年	<p>有効活用可能スペース</p> <p>①福祉施設内のスペースの確保 ※区介護施設連絡会、有効活用ネットワーク部会にて、了承を得た</p> <p>②マンションのスペース活用の相談</p>
サービス実施情報の周知等	通年	<p>・いきいき・はつらつニュースの発行（1回）※地域包括支援センターだより NN ニュース withTY と共同発行</p> <p>・フレイル予防ミニ講座の開催（3回）</p> <hr/> <p>・西淀川区^得に～よん参考書シリーズ（シニア編、食べることは生きること編、認知症かかわり編）の発行</p> <p>・西淀川区^得に～よん参考書～在宅医療・介護予習編～別冊こんなときどうする？お役立ち一覧の発行</p>

5 生活困窮者自立相談支援事業

社会的孤立・経済的困窮により生活困難を抱える方々の早期把握と自立に向けた支援を株式会社アソウ・ヒューマニーセンターと共同体として取り組んだ。

(1) 相談窓口の運営

① 相談受付・提案（支援と解決につながる具体策の提案・紹介）

区役所生活自立相談・就労支援窓口より情報提供

事業名	時期	内容
相談受付・対応	通年	相談受付：3220件（前年度 2140件）
		家庭訪問・同行支援：64回（前年度 88回） 関係機関等訪問：4回（前年度 8回）
		就労支援プラン作成：31件（前年度 124件） （一般就労 10名）

6 生活福祉資金貸付事業

生活福祉資金貸付事業の窓口として、さまざまな生活課題を抱える人たちに対して支援を行った。特に、新型コロナウイルス感染症の影響で収入が減少し生活に困窮する方への特例貸付については、生活困窮者自立支援窓口と連携し、相談及び申請手続き等の支援を行った。

(1) 相談窓口の運営

① 生活福祉資金貸付事務事業の推進

- ・相談対応、貸付、民生委員・児童委員へのつなぎ、新型コロナウイルスの影響による生活支援貸付相談

事業名	時期	内容
生活資金等の相談受付・対応	通年	総合支援資金・福祉資金・教育支援資金 ・電話：179件 窓口：99件 申込書配付：37件 申請数：60件（教育 31件・福祉 29件）
		新型コロナウイルス感染症特例緊急小口・総合支援資金 ・電話：4290件 窓口：1363件 申込配付：905件 申請数：2495件（総合 1734件：緊急小口 761件） 総合（内数） 初回申請 769件 延長申請 180件 再貸付申請 785件

7 介護予防事業（なにわ元気塾）

地域の集会所などで、65歳以上の方を対象に、生活空間を広げ、認知機能や生活全般の活性化を図ることを目的に、外出の機会、地域の人との交流の機会を増やすなど、自立した活動的な生活を送っていただけるよう、感染予防対策をとり、事業を実施した。

新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴い「緊急事態宣言」が発令された期間に通常開催が実施できない場合は個別開催により実施した。

（1）介護予防事業（なにわ元気塾）

① 介護予防教室（体操やレクリエーション、音楽、手工芸など）

事業名	時期	内容
介護予防教室 （なにわ元気塾）	通年	柏里地域：12回・267人（前年度142人）
		野里地域：12回・112人（前年度59人）
		歌島地域：12回・248人（前年度106人）
		香簀地域：12回・191人（前年度151人）
		竹島地域：12回・81人（前年度83人）
		佃地域：12回・237人（前年度171人）
		大和田地域：12回・111人（前年度82人）
		千舟地域：12回・113人（前年度93人）
		姫里地域：12回・139人（前年度112人）
		姫島地域①：12回・110人（前年度87人）
		姫島地域②：12回・72人（前年度59人）
		福地域：12回・93人（前年度65人）
		大野百島地域：12回・156人（前年度8人）
		川北地域：12回・121人（前年度63人）
		出来島地域：12回・261人（前年度180人）
		合計 180回・2312人（前年度1461人）

（個別開催を含む）

8 あんしんさぽーと事業（日常生活自立支援事業）

認知症や知的障がい、精神障がい等により判断能力が不十分な方が地域で自立した生活が送られるよう、福祉サービス等利用援助、金銭管理・預かりサービスを行った。

（1）あんしんさぽーと事業（日常生活自立支援事業）の推進

・福祉サービスの利用援助や日常の金銭管理・証書等の預かりサービスを実施

事業名	時期	内容
あんしんさぽーと事業（日常生活自立支援事業）	通年	サービス利用件数：78件（前年度79件） 内訳 認知症高齢者等 33人 知的障がい者等 22人 精神障がい者等 22人 その他 1人 契約締結件数：10件（前年度9件） 契約解約件数：11件（前年度11件） 初回相談受付件数：11件（前年度16件）
		相談延べ件数：3684件（前年度5526件） 電話・来所：認知症高齢者等 659件 知的障がい者等 584件 精神障がい者等 843件 その他 61件 訪問：認知症高齢者等 607件 知的障がい者等 389件 精神障がい者等 513件 その他 28件

9 地域包括支援センター事業

歌島中学校下と佃中学校下における地域包括支援センターとして、介護や福祉、保健、医療などのサービスが包括的かつ継続に提供される「地域包括ケア」を支える中核機関としての役割を推進した。

※区内には、高齢者人口に沿って、2箇所の地域包括支援センターが大阪市からの委託を受け運営

※本会が運営する「西淀川区地域包括支援センター」は歌島・佃中学校下圏域を担当し、社会福祉法人博陽会が運営する「西淀川区南西部地域包括支援センター」は淀・西淀中学校下圏域を担当

(1) 包括的・重層的な相談支援強化

① 総合相談支援

- ・ご本人やその家族・親族の抱える多様な相談を受け止め、様々な社会資源の活用を促すとともに、地域や関係機関（専門機関、行政等）との連携に努めた。

② 権利擁護

- ・高齢者の権利擁護のため、高齢者虐待対応や判断能力の不十分な認知症の方などへ成年後見制度の活用を促し、高齢者への消費者トラブルや特殊

詐欺などへの注意喚起や被害防止に関する啓発に取り組んだ。

事業詳細	時期	内容
総合相談業務	通年	相談実人員：818人（前年度734人） 内 認知症疑い有：199人 訪問による相談実人員：417人
		相談延べ件数：6,601件（前年度5,036件） 内 訪問・出張：1,903件 電話：4,252件 来所：427件、 その他：19件
		相談内容 家族・家庭問題 275件、経済・生活問題：973件 介護サービス：1,682件、介護予防サービス：886件 介護予防・日常生活支援総合事業：497件 福祉サービス：226件、保健・医療サービス：1,089件 虐待に関すること：233件 成年後見制度の活用：434件 生きがいつくり：126件、その他：177件
権利擁護	通年	高齢者虐待受理・対応件数 ・前年度より継続対応：8件 ・令和3年度受理分：12件
		成年後見制度申立て支援 ・前年度より継続対応：5件 ・令和3年度受理分：19件
		消費者被害防止のための取り組み ・地域包括支援センターちらしに特殊詐欺記事を掲載 ・NN ニュース withTY に警察からの記事を掲載 ・エルちゃんのトラブルバイバイ♪ニュース（大阪市消費者センター）、見守り新鮮情報（国民生活センター）等の情報発信：毎月

（2）包括的・継続的ケアマネジメント支援

① 介護支援専門員への支援

- ・介護支援専門員へのスキルアップ研修の開催や、介護支援専門員相互の情報交換・課題共有などを行う場を設け、介護支援専門員同士のネットワーク構築に取り組んだ。

② 多職種との連携・協働

- ・個々の高齢者の状況変化に合わせたケアマネジメントが実施できるように、介護支援専門員、医療機関、介護サービス事業者、生活支援コ

ーディネーター、在宅医療・介護連携支援コーディネーター等との連携が円滑にできるような地域づくりに取り組んだ。

事業名	時期	内容
介護支援専門員の支援	通年	介護支援専門員からの個別相談：833件（前年度618件）
		居宅介護支援事業者連絡会の開催支援 ・居宅介護支援事業者連絡会：7回 ・居宅介護支援事業者運営委員会：7回
多職種との連携・協働	通年	介護支援専門員への研修会（当センター主催） ・13回（前年度1回） 「高齢者虐待防止のための研修会」
		専門機関・行政・地域等との連携 ・ネットワーク構築のための会議：173回 ・地域との関係づくり：21回

（3）地域ケア会議

① 地域ケア個別会議

・様々な機関や職種の多様な視点で検討を行うことにより個別ケースにおける課題解決に努めた。

② 自立支援型ケアマネジメント検討会議（小会議含む）

・高齢者の自立支援・重度化防止の資するケアマネジメントを支援するため開催した。

③ 地域課題整理のための地域ケア会議

・地域ケア個別会議、自立支援型ケアマネジメント検討会議等で把握した個別課題・ニーズをまとめ、そこから見えてきた地域課題について多職種・他職種、地域の方等で検討し、取りまとめた。

事業名	時期	内容
個別ケース検討の地域ケア会議	通年	個別ケース検討：12回 事例検証・振り返り：1回
自立支援型ケアマネジメント検討会議	通年	11回（小会議含む）
地域課題整理のための地域ケア会議	通年	2回

（4）家族介護支援事業

① 家族介護者のつどいの場

・家族介護者の悩みや情報交換の場の開催支援を行った。

② 介護や認知症への理解を深めるための啓発の推進

・日常的に介護を行っている家族・親族等の支援として、西淀川区^得に～よん参考書～認知症かかわり方編～を作成した。

事業名	時期	内容
家族介護者のつどいの場	通年	家族介護者の会「ひまわりの会」 8回 延べ参加者 75人 男性介護者の会「ひょうたんの会」 8回 延べ参加者 35人 ※緊急事態宣言時は中止
介護予習スクール	通年	※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
啓発の推進	令和4年3月発行	西淀川区 ^得 に～よん参考書～認知症かかわり方編～

(5) 指定介護予防支援事業（第1号介護予防支援事業含む）

要支援者等が、要介護状態となることを予防し、自立した生活を送ることができるよう、本人の意思を尊重し、生活の質の向上に資するサービスの提供、一人ひとりの生きがいや自己実現のための取り組みなどを支援した。

事業詳細	時期	内容
指定介護予防支援事業	通年	令和4年3月時点でのケアプラン作成：427件
介護予防ケアマネジメント	通年	令和4年3月時点でのケアプラン作成：245件

- ※ 介護予防ケアマネジメント(第1号介護予防支援事業)は、介護予防・日常生活支援総合事業のサービス(訪問型サービス、通所型サービス)のみを利用している利用者へのケアプラン作成
- ※ 指定介護予防支援事業は、介護予防サービス(訪問看護、訪問リハビリテーション、通所リハビリテーション、福祉用具貸与等)を利用している利用者へのケアプラン作成
- ※ ケアプラン作成数は、給付管理数を記載

10 通所介護事業（デイサービス）

令和2年度より休止

1 1 老人福祉センター事業

「西淀川区老人福祉センター」の管理運営とともに、高齢者の生きがいと健康づくり、社会参加に向けた情報提供などを行った。

※新型コロナウイルス感染症予防対策のため令和3年5月～6月中は閉館。
 ※センター事業及びサークル活動については、大阪市の指針により活動中止又は人数制限をおこなった。

(1) 西淀川区老人福祉センターの管理運営

① 生きがいづくり事業

・ イベント行事・講座・教室、自主サークル活動への支援

② 健康づくり事業

・ 介護予防・健康づくりに取り組む地域づくりとして、「なにわ元気塾」事業が実施され、当センターも共催。「おとなのてらこや」の開催、「いきいき百歳体操」の普及促進など

③ 世代間交流事業

・ 「に～よん文庫」の実施、「ふれあいフェスティバル（作品展）」の開催
 ・ 「こども囲碁教室」は新型コロナウイルス感染症対策により活動中止

④ 老人クラブ活動への支援

・ 区老人クラブ連合会事務局、地域の老人クラブ活動の支援など

事業詳細	時期	内容
センターの運営	通年	延利用人数：9,386人（前年度9,378人） 登録者数：1,222人（新規登録人数：73人）
生きがいづくり事業	通年	講座・イベント活動：84回・1,149人 （手作り教室、に～よん文庫、いきいき百歳体操など） に～よん文庫：世代間交流事業との重複案件 新型コロナ感染症対策により活動中止：「いご教室」
	通年	サークル活動：256回・3,278人 （編物・生花・歌体操・水彩画・カメラ・習字・ペン習字・手話・俳句・パッチワーク・フォークダンス・太極拳・リズム体操・3B体操・フラダンスなど） 新型コロナ感染症対策による活動中止サークル 「カラオケ」「たのしい歌広場」「コーラス」「詩吟」 「歌声喫茶」「楽謡会」
	通年	新型コロナ感染症対策による活動中止事業 「お楽しみ会」「お誕生会」「年忘れお楽しみ会」など

健康づくり事業	通年	「いきいき百歳体操」：39回・534人 「PPK体操」：6回・120人 「おとなのてらこや（認知症予防）」：7回・100人 「すこやか健康体操」：6回・120人 新型コロナ感染症対策による活動中止事業 「歯科講演会」
世代間交流事業	通年	「に～よん文庫」：30回・129人 （生きがいつくり事業との重複案件） 「ふれあいフェスティバル（作品展）」の開催 新型コロナ感染症対策による活動中止事業 「こども囲碁教室」、「年忘れお楽しみ会」、「町たんけん」、「ふれあいフェスティバル（サークル発表会・演劇）」
老人クラブ活動への支援	通年	区老人クラブ連合会事務局との連携 「ふれあいフェスティバル（作品展）」、「けんこうの集い」、「三謝大会（記念授与式）」、「女性部民謡」活動への支援

12 子育て活動支援事業

「西淀川区子ども・子育てプラザ」の管理運営と、「地域子育て支援拠点事業（つどいの広場事業）」などを通じて、乳幼児期の親子、子育て支援関係者や子どもたちが集い交流する機会を提供するなど、子育て世帯や子ども達の支援を展開した。

（1）大阪市子育て活動支援事業

- ① 子育て情報の収集、管理、提供（区内子育て支援情報誌の発行協力、ホームページの更新、「プラザイベント情報紙」の発行など）
- ② 地域の自主的な子育て活動支援（運営面での助言・場所の提供・遊具の貸出、「保育ボランティアセミナー」、「ファミサポ提供会員養成講座」等の開催）
- ③ 子育て中の親子の支援（子育て支援講座や学べる機会を提供）
- ④ 児童の健全育成（自由な遊びの機会・ふれあいの機会の提供、出前講座）
- ⑤ 地域関連・その他（「リユース in 竹島」、「に～よん文庫」、「多文化交流」など）

事業詳細	時期	内容
プラザ（全体）	通年	開設日数：305日（前年度304日） 利用者数：17,662人（前年度16,314人） 相談件数：659件（前年度936件）
登録者数（全体）	通年	乳幼児：1,048人、小学生以上：196人 合計：1,244人（前年度1,275人）
	通年	子育てサークル：0団体 一般グループ：6団体 大阪市利用団体：0団体
ホームページ	通年	「おおさか子育てネット」、「西淀川区社協」随時更新
プラザイベント情報紙	通年	プラザイベント情報紙の発行：102,050部 配布先99か所
子育て活動支援事業	通年	開設日数：305日（前年度304日） 利用者数：5,131人（前年度4,483人） 相談件数：146件（前年度155件）
自主的な活動支援	通年	ボランティアへの支援等5回：71人
保育ボランティアセミナー	5月19日～ 5月21日	1クール3日間、3回：のべ10人
ファミサポ提供会員養成講座	10月13日～ 10月30日	提供会員養成講座、受講：24人
子育て中の親子支援	通年	<遊び場の開放>239日：1,298人 <子育て支援講座>33事業：33回・1,390人 （リラクソスヨガ、ベビーマッサージ&ベビーマッサージ、リユースフェア、ハロウィンパーティー、クリスマスパーティー、健康なんでも相談会など）
児童健全育成	通年	<自由あそび>225日・260人 <体験活動等>17事業：21回・165人 （1ねんせいかんげい会、スライムづくり、プラ板づくり、ピタゴラスイッチに挑戦！小学生からのハロウィン、なぞとき脱出ゲームなど）
地域関連	2月5日	「リユース in 竹島」22人
区事業	通年	絵本展（展示）・に～よん文庫・多文化交流などへの協力：26回・230人
一般利用	通年	利用回数：107回・810人

(2) 大阪市ファミリー・サポート・センター事業（支部業務）の推進

- ① ファミリー・サポート・センター事業の推進（子育て援助を行いたい人と援助を受けたい人をコーディネートするなど）

事業詳細	時期	内容
ファミリー・サポート・センター	通年	開設日数：305日（前年度304日） 利用者数：440人（前年度696人）
会員状況	通年	依頼会員：98人、提供会員：32人、両方会員：11人、ペア数：99組、活動件数：294件
サブリーダー会議	4月15日 6月23日 10月6日 1月12日	「学習会、交流会について」、「ファミサポ通信の内容について」など4回：のべ11人
交流会・学習会	10月30日 1月29日	「普通救命講習Ⅲ」「節分あそび」「みんなであそびながら体操」など3回：21人
会報の発行	年3回	ファミサポ通信：454部
その他	通年	入会・更新手続き、事業説明など：429人

(3) 大阪市地域子育て支援拠点事業（つどいの広場事業）

- ① 子育て親子の交流の場の提供（「つどいの広場」の実施、川北・竹島・出来島での「ミニつどいの広場」の実施）
 ② 子育て相談（日常的な相談、子育て支援室や関係機関との連携を強化）
 ③ 子育て支援に関する講習（子育て支援情報の提供、「子育て支援講座」や「お誕生日かい」の開催）
 ④ ブックスタートの実施

事業詳細	時期	内容
つどいの広場	通年（週5日）	開設日数：247日（前年度246日） 利用者数：5,554人（前年度5,108人）
ミニつどいの広場	通年（月2回）	川北地域、竹島地域で月2回、出来島地域で月1回開催、日数：33日、参加：276人
相談と援助	通年	相談件数：513件（前年度781件）
子育て支援講習	通年	3事業：22回、参加者数：480人
ブックスタート	通年	プラザ・川北地域・竹島地域・出来島地域 実施回数：45回、参加者数：219人

